

令和6年第4回伊丹市議会（定例会）
個人質問発言通告者順位表

令和6年9月13日通告

発言順位	議員名	発言予定日	発言予定時間
1	川井田清香	9月18日（水）	10時00分～10時50分
2	岸田真佐人	〃	10時50分～11時40分
3	高橋 あこ	〃	13時00分～13時50分
4	森 華奈子	〃	13時50分～14時40分
5	前田伸一郎	〃	15時10分～16時00分
6	北原 速男	〃	16時00分～16時50分
7	篠原 光宏	9月19日（木）	10時00分～10時50分
8	新内 善雄	〃	10時50分～11時40分
9	加柴 扶美	〃	13時00分～13時50分
10	山藺 有理	〃	13時50分～14時40分
11	花田康次郎	〃	15時10分～16時00分
12	高塚 伴子	〃	16時00分～16時50分
13	保田 憲司	9月20日（金）	10時00分～10時50分
14	松浦 晴美	〃	10時50分～11時40分
15	泊 照彦	〃	13時00分～13時50分
16	原 直輝	〃	13時50分～14時40分

※議事の都合により、発言日時が変更となることがありますのでご注意ください。

発言通告書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1. 生活道路の法定速度時速 30 キロの引き下げについて	
・ゾーン30の導入からみる生活道路時速30キロ規制の効果	
・本市における規制対象となる道路と一律時速30キロ規制に対する懸念点	
・規制の対象外となる中央線のある道路の安全対策	
・ゾーン30の今後の方向性	
2. 職員の中途採用について	
・中途採用試験の実施と採用状況	
・中途採用職員の処遇	
・中途採用に期待する効果	
3. 子ども・若者の薬物乱用について	
・オーバードーズの現状	
・相談体制、予防教育、啓発	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	市長・副市長・教育長・担当部長

上記のとおり通告します。

令和6年9月13日

伊丹市議会議長 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 川井田 清香

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1、 不登校対策支援員の継続を！ 3年前に伊丹市が始めた不登校対策支援員は、今年度からの兵庫県支援事業につながった。不登校対策支援員は今や教育現場に不可欠なスタッフとなっている。来年度は勤務時間を延長して配置を継続すべきと考えるが当局の見解を伺う。 2、 不登校対策支援に民間団体との協働を！ 現在、フリースクールや子どもの居場所づくり団体が多く設立されている。さらにそれらをつなぐ民間団体もある。現在は情報提供や支援業務を市教委がおこなっているが、情報も最新ではなく業務の負担も大きい。生活困窮者自立支援事業のように民間団体と連携すべきと考えるが当局の見解を伺う。 3、 教科書展示期間の延長を！ 今年の教科書展示期間は1週間であった。市民に教科書への関心を持ってもらうためにも、広報を強化するとともに2週間程度の展示が必要だと考えるが当局の見解を伺う。 4、 カスタマーハラスメント対策を！ 近年はさまざまな業界で事業者や労働者がカスタマーハラスメントの被害にあっている。それが早期退職の原因になることで人手不足にもつながっている。伊丹市として対策をとるべきと考えるが当局の見解を伺う。 5、 JR 北伊丹駅周辺に「喫煙」スポットを！ JR 北伊丹駅の乗降客数が多くなっている。そんな中、駅周辺で煙害に苦しむ人が増えている。駅周辺に喫煙スポットを設置して分煙をすすめるべきと考えるが当局の見解を伺う。	
方 式	総括方式
答弁を求める者	教育長、関係部長等

上記のとおり通告します。

2024 年 9 月 10 日

伊丹市議会議長 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 岸田 真佐人

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨

1. 統合新病院の今後について

統合新病院整備事業における大原則「新たな市民負担を求めることはしない。一方で、市民サービスの水準を切り下げることもしない。市民には、直接影響しない形で伊丹市の財政の工夫の範囲内でやっていく」を考えます。

2. 伊丹市に公民をつなぐビジネスチャットを

市と民間事業者でも、ビジネスチャットを取り入れることによって、民間事業者・市、双方の業務改善につながり、ひいては市民サービス向上につながると考えますが、見解を伺います。

3. 夏休みの子どもの居場所が必要です。若者の居場所も必要です。

夏が暑すぎて、日中、外で遊べません。唯一ボール遊びが出来た児童会館も、熱中症警戒アラートが出て一日中グラウンド使用禁止でした。どこで子どもたちの遊びを保障することが出来るのか考えます。

方 式

☐ 総括方式

☒ 一問一答方式

答弁を求める者

市長、教育長、担当部長、など

上記のとおり通告します。

令和 6 年 9 月 13 日

伊丹市議会議長

戸田 龍起 様

伊丹市議会議員

高橋 あこ

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1. ぎょうぎ温泉について	
2. シルバー人材センターの運営について	
3. 伊丹市におけるボランティア活動について	
・有償ボランティア	
・福祉サポーターポイント事業	
・地域ボランティアによる生活支援の取組	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	市長・副市長・教育長・各関係部長

上記のとおり通告します。

令和6年 9月 13日

伊丹市議会議長 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 森 華奈子

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1、がん治療で発症する「リンパ浮腫」のケア体制について	
・がん治療後にリンパ浮腫を発症された人数	
・リンパ浮腫と診断された方の治療先	
・統合新病院でのリンパ浮腫外来の設置	
・専門医師・専門看護師の雇用と育成、県や大学との連携	
2、いじめ・自殺防止、不登校問題対策の構築について	
・児童・生徒の市内の相談窓口の利用実績	
・1人1台端末を活用した「いじめ・自殺防止」「不登校対策」への 取り組み	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	市長、教育長、事業管理者、担当部長

上記のとおり通告します。

令和6年 9月 12日

伊丹市議会議員 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 前田 伸一郎

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1. 大規模災害の発生に備えた体制と整備について	
(1) 現在の体制整備状況等	
(2) 自助・共助等への取組みの課題等	
2. スポーツ施設における空調設備について	
(1) スポーツ施設の活用状況等	
(2) 今後の取組み等	
3. 伊丹空港を活かしたまちづくりについて	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	市長・担当部長

上記のとおり通告します。

令和6年9月12日

伊丹市議会議長 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 北原 速男

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1. 統合新病院整備工事の進捗状況について	
・医療提供や利用者動線及び安全確保など現在の運用状況	
・令和6年度の建設工事がどこまで進み、次年度以降は具体的にどのような工事が展開されていくのか	
・今後進められる西棟の建設に関する、工期遅延リスクへの見解	
2. 中学校部活動の地域移行について	
・地域移行を進めていくうえで、懸念される活動費の保護者負担増や支援学級在籍の生徒に対する配慮、防犯上の問題などへの見解	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	市長、教育長、関係部長

上記のとおり通告します。

令和6年9月13日

伊丹市議会議員 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 篠原 光宏

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1. 「ガバメントクラウド」への移行状況等について	
(1) 本市の現行基幹系業務システムの運用環境	
(2) ガバメントクラウドへ移行する場合、本市が現行アプリケーションとデータを標準化し合わせて移行するのか、あるいはデータのみを標準化し、国が準備した標準化アプリケーションを使用するのか	
2. 「中学校部活動の地域移行」の進捗状況等について	
(1) 小学校・中学校における説明会の進捗状況	
(2) 移行期間中、部活動と地域クラブが共存することの影響	
方 式	☐ 総括方式 ☒ 一問一答方式
答弁を求める者	市長、副市長、各担当部長等

上記のとおり通告します。

令和 6 年 9 月 1 3 日
伊丹市議会議長 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 新内 善雄

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1.医療的ケア児を受け入れる体制作りと現状について	
① 就学前施設や各学校における医療的ケア児の受け入れ体制とケアスタッフの配置状況	
② 放課後等デイサービスにおける医療的ケア児の受け入れ施設の現状と施設拡充への 対策	
③ 家族の負担軽減の対策(レスパイト、送迎時の家族支援、訪問入浴)	
2.公共交通について	
① 市営バスの利便性	
② クロスセクター効果	
3.教職員の労働環境改善と安全衛生委員会の役割について	
① 伊丹市立の学校における安全衛生委員会の設置状況と委員会活動の役割	
② 教職員の職場環境とメンタルヘルスケア	
③ 伊丹市立の学校における教職員の職員配置と欠員状況	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	担当部長 事業管理者

上記のとおり通告します。

2024年 9月 13日

伊丹市議会議員 戸田龍起 様

伊丹市議会議員 加柴 扶美

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨

■「吃音（きつおん）」について

吃音は言葉がスムーズに出てこない発話障害のひとつで、主に2～4歳で発症し、発症率は約9%。治療については、7割が特別な治療を受けることなく自然に改善するが、残り3割は症状が固定化し全人口の約1%に見られる。これを踏まえ、国立障害者リハビリテーションセンターなどの研究チームが作成した幼児吃音臨床ガイドラインに基づき、3歳児健康診査での吃音のスクリーニングや相談・支援の環境の確認、学校現場での理解促進を図る啓発について伺う。

■持続可能な市営バスを目指して

1、市民の安全な公共交通を目指す為に、乗務員の健康や職場環境の改善について改めて考える。

2、本年7月20日から実施した「いたみっ子おでかけパス」について、その結果と利用者の反響、今後の考えについて伺う。

方 式	☐ 総括方式 ☒ 一問一答方式
答弁を求める者	市長、事業管理者、教育長、担当部長、など

上記のとおり通告します。

令和6年 9月 13日

伊丹市議会議長 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 やまぞの 有理

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1. 介護保険施設等への運営指導、監査について	
(1) 一般指導、集団指導、合同指導の実施状況について	
(2) 定期の運営指導以外での指導、監査について	
(3) 運営基準違反や報酬請求違反について	
2. 事業者応援お楽しみギフト事業について	
(1) 引換券、金券の利用率について	
(2) 事業の効果検証について	
(3) 以後の施策運営への活用状況について	
方 式	☐ 総括方式 ☒ 一問一答方式
答弁を求める者	市長、担当部長

上記のとおり通告します。

令和 6 年 9 月 1 2 日

伊丹市議会議員 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 花田 康次郎

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1. 市立小中学校の特別支援学級について	
① 特別支援学級児童生徒の数が、外数なのはなぜか	
② 特別支援学級児童生徒の数の推移	
③ 特別支援学級児童生徒の増加の原因	
④ 特別支援学級児童生徒の学校による偏在の理由	
⑤ 地元中学校への進学を壁を解消するには	
⑥ クラス編成に特別支援学級児童生徒を含まない理由	
2. 都市計画道路伊丹緑ヶ丘線について	
① 伊丹市の都市計画道路整備プログラムの改定の内容	
② 伊丹緑ヶ丘線の整備効果は	
③ 伊丹緑ヶ丘線が「計画廃止」とされる可能性は	
④ 山田伊丹線の轍を踏まないためには	
⑤ 都市計画道路整備の今後の進め方	
方 式	☐ 総括方式 ☒ 一問一答方式
答弁を求める者	市長・副市長・教育長・担当部長

上記のとおり通告します。

令和 6 年 9 月 13 日

伊丹市議会議長 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 高塚 伴子

発言通告書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1、「隠れ教育費」	
・学校教育に係る保護者負担および教職員の自己負担について。	
・公費と私費の現状を見直す必要があるのではないか。	
2、伊丹市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画から	
・居宅介護について。どれだけの受け皿や余力があるか。	
・ケアマネジャーをはじめ介護人材の確保が厳しい。今後の方策は。	
方 式	☐ 総括方式 ☒ 一問一答方式
答弁を求める者	市長、教育長、担当部長等

上記のとおり通告します。

2024年9月13日

伊丹市議会議長 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 保田 憲司

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1. 市民の命を守る救命救急と AED について	
① 本市における AED の設置状況と設置場所の周知	
② 市民に向けた AED および救急講習の取り組み	
③ 講習の効果	
④ 市民への応急手当の普及啓発	
⑤ 学校等、公共施設において、職員への AED 講習の状況	
⑥ 中学校における AED の学習	
⑦ プライバシー保護のため AED への三角巾配備	
2. プレコンセプションケアの推進について	
① プレコンセプションケアに対する市の認識	
② プレコンセプションケアの啓発	
③ 学校教育におけるプレコンセプションの取り組み	
④ プレコンチェックシートの活用	
⑤ プレコンチェック検査の一部助成	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	市長、各関係部長

上記のとおり通告します。

令和 6 年 9 月 1 3 日

伊丹市議会議長 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 松浦 晴美

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1. 『インクルーシブ公園拡大の必要性』	
障がいのある子どもたちの需要と供給のバランスを考えつつ、ユニバーサルデザインで、木のぬくもりを感じられるインクルーシブ公園が必要では？	
2. 『地方公務員の魅力づくりにどういった手立てが必要なのか』	
今年度、過去最高の春闘賃上げが実現したが、益々、待遇面での民間格差が広がり、公務員等は見向きもされない状況下で、優秀な人材確保を図るには？	
3. 『女性弁護士等を市職員に登用出来ないのか』	
地方公務員不足が到来しているが、国の法制度見直しによる条例改正等の法務や危機管理、災害発生対応時において、女性の視点をさらに活用すべきでは？	
4. 『今後の人手不足に備え消防本部の通信指令業務の広域化が必要では』	
全国各地で人口減少により過疎化する地域や、消防職員の担い手不足から、消防本部の通信指令業務を共同運用する動きが進んでいる。また、能登半島地震では災害対応の向上を目指す広域化の重要性が認識されている。総務省消防庁も財政支援の方向で進められている。間接業務の人員を削減することで、直接現場動員増が見込まれるが、現在尼崎市と共同運用している通信指令業務について、さらに広域化することはできないのか。	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	藤原市長、坂本副市長、太田教育長、各事業管理者、各部長

上記のとおり通告します。

令和 6 年 9 月 13 日

伊丹市議会議長 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 泊 照彦

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
5. 『伊丹市医師会からの令和6年度要望書の実現』に向けて	
今後の医師会との関係性を考慮するならば、健診等の諸手当の値上げを実施すべきではないのか。この6月から受診患者と医師との間で、診断内容の確認を文面で行うようになったが、この方式では、個人情報の漏洩につながりやすくなるのではないのか。待ち時間も嵩むのではないだろうか。	
6. 『本格的な駄六川の浚渫はいつから始まるのか』	
1月から3月の間で工事を実施するとされていたが、工事はどの範囲まで行われたのか。また、今後は計画的に実施されるとのことだったが、今後の浚渫計画は？	
7. 『今もなお新たなるコロナ変異株が発生する中、ワクチン接種の後遺症に苦しんでいる市民の状況を把握しているのか』	
コロナワクチン接種後の健康被害救済制度は機能しているのか。コロナワクチン接種後、働きたくても働けない方々への支援制度が必要では？	
8. 『各児童クラブの児童は適正人数で収まっているのか』	
児童数増の傾向は、一過性なのか、それとも継続的なのか、今後の見込みは？	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	藤原市長、坂本副市長、太田教育長、各事業管理者、各部長

上記のとおり通告します。

令和 6 年 9 月 13 日

伊丹市議会議長 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 泊 照彦

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1. 人生会議の認知と新たな取り組み	
・ 人生会議の認知度向上	
・ 人生会議の周知方法	
・ 民間ファシリテーターの養成	
・ 高年者に留まらない若年層へのアプローチ	
2. 若年層による引きこもり	
・ 「子ども・若者育成支援推進法」についての本市の見解	
・ 本市におけるひきこもりの実態	
・ 民間事業との連携	
・ 今後の計画	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	市長 事業管理者及び関係部長

上記のとおり通告します。

令和6年 9月 13日

伊丹市議会議員 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 原 直輝